

ズバリ町政を問う

● 一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について町長など執行機関の考えを議員個人として問いたですことです。
 ● 一般質問は会議録にもとづき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）を参照ください。掲載は質問順といたします。

事業仕分け 町でも実施を要望

答弁：すぐには考えにくい

丸山真智子 議員



丸山 事業仕分けは予算の削減が目的ではない。職員のコスト意識と住民の協働の意識が高まる。公開に意義がある。町長 仕分けを否定はし

ないが、この5年間行政評価システムを検討してきた。

このシステムを活用して予算編成を進めたい。公開であれば、その目的を達成するという事ではないと思う。

6町合併の行方と将来

答弁：めどがつかない

丸山 現時点で合併問題についてどう考えているのか。

単町でのまちづくりにシフトし、将来のビジョンを描いて語って欲しい。

町長 合併ありきでなく単町で生き残る体制づくりを進めている。

住民のパワーを引き出すのがキーワード。その思いでまちづくりを行う。

「その他の質問」

● まちづくり支援室の活かし方

● 「町村フェア」の実施



▲行政評価会議（職員による）

内水対策 たんすい 湛水量を推算すべき

答弁：調査を起点に対応する

堤久美子 議員



堤 内水対策を講じていくことは、湛水量測定も含んでのことか。
 町長 優先度、緊急度で着手できるものについては取りかかっている。湛水量の測定を起点としながら、今後の対応を

考えていく。地域整備課参事 湛水量の調査はできる。今後必要になれば調査する。
 堤 いろいろな対策を練っていくのに、湛水量調査は必要であり急務。
 福祉事業は社協に
 答弁：委託は考えていない
 堤 健康課のウキウキルーム事業の取り組みは、健康課長 一回2万5000円で民間委託会社に介護・健康を中心に考えて委託している。
 堤 民間委託業者にゆだねるのではなく、地域福祉にたけている、ネットワークをもっている社協の方が充実していく。
 町長 介護予防教室の卒業生等を地域で受け入れる場所づくりを充実させる。社協への委託は考えていない。

行財政改革 90億予算未達の責任

答弁：更なる努力と改善

牛房良嗣 議員



牛房 行財政改革の目標とする身の丈90億円予算の構築には、職員・議員は自らの人件費を削減。町民は補助金の打ち切り削減を我慢し協力して

きたが、最終的に未達に終わる。未達の責任についてどう考えているのか。

町長 行革は大きな取組ですべての達成は無理。大事なことはプロセス、努力が大事。結果についての責任云々はいかがなものか。

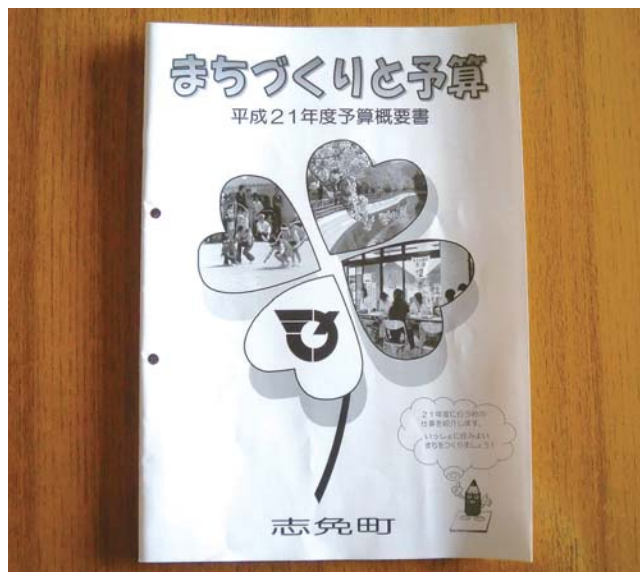
牛房 結果に対する評価責任が問われないなんて民間企業ではありえない。役所の体質改革を。

ゲリラ豪雨調査即行動

答弁：被害減少に努める

牛房 ゲリラ豪雨防水対策、現地調査即行動を。地域整備課参事 床上浸水52ヶ所、現地の話を聞き一部側溝工事。抜本的工事は次年度以降。生活環境課長 町内会毎の防災マップ作成には、地域と連携協力し進めている。

牛房 防水対策は、4町で共同、提携で。



▲全戸に配付の予算書